

令和5年度

大阪府立寝屋川高等学校

学校教育自己診断

結果と分析

実施日 令和5年12月

Google Form で実施

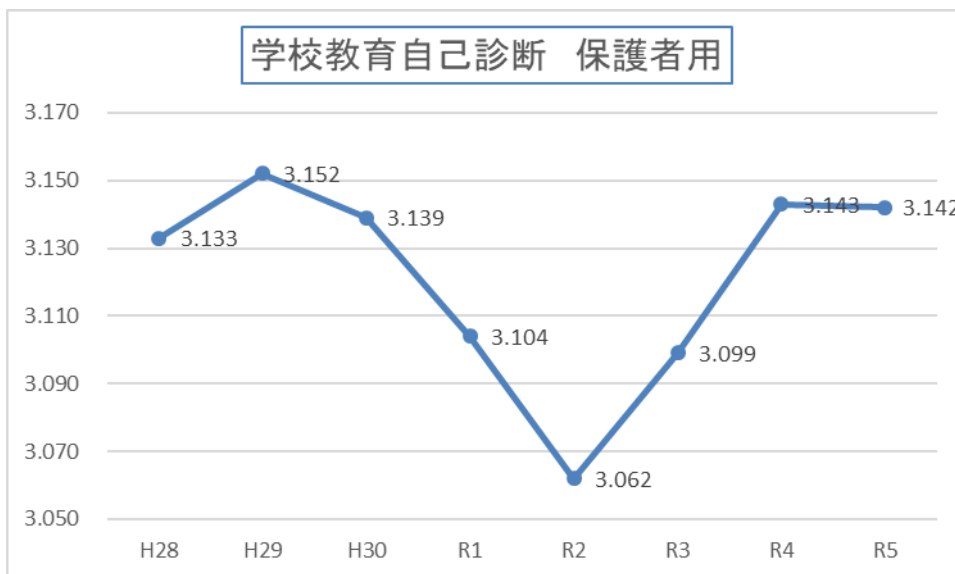
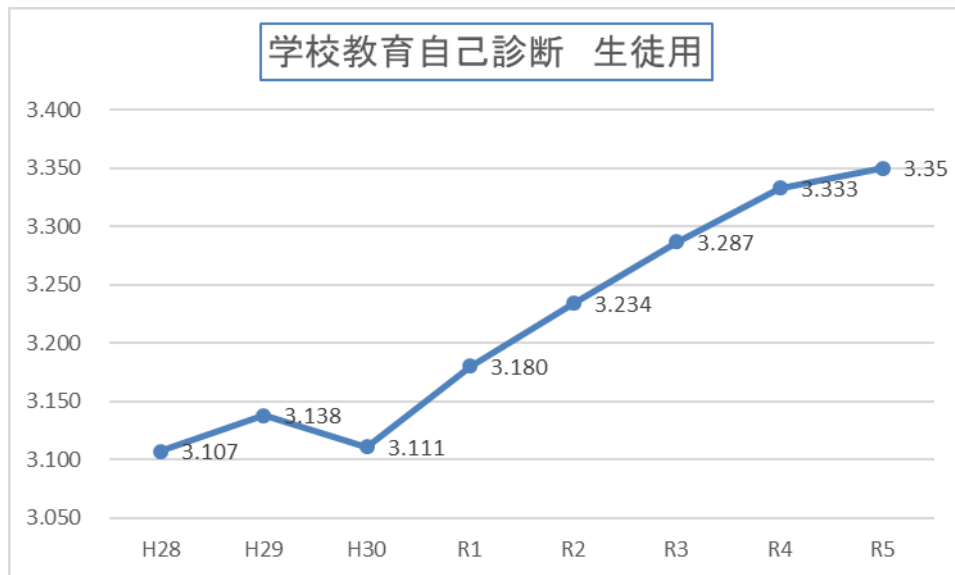
実施対象 生徒 827/948 (87.2%)

保護者 538/948 (56.8%)

教職員 46/61 (75.4%)

全項目の平均値 経年変化

『そう思う』:4点 『どちらかといえばそう思う』:3点 『どちらかといえばそう思わない』:2点 『そう思わない』:1点
とした平均値（値が4に近づくほど評価が高い）



生徒編

教育庁から指示のあった必須3項目を加えた全17項目で実施した。

「そう思う・どちらかと言えばそう思う」といった肯定的に回答が80%を超えた項目は、全17項目のうち14項目、90%を超えたのは11項目だった。

評価数値^{※1}の全項目平均値は年々上昇傾向にあり、過去最高値だった昨年度をさらに上回る結果といえる^{※2}。昨年度比較で、6項目において上回った。

※1) 『そう思う』4点、『どちらかといえばそう思う』3点、『どちらかといえばそう思わない』2点、『そう思わない』1点としての平均値

※2) 変更した新3項目を含めた値のため一概に比較はできないが、共通項目において肯定回答90%超が昨年度より増えたことによる所見

評価数値が昨年度を上回った項目

「学校は将来の生き方や進路選択について考える機会を設けている」〈進路〉

「学校で命の大切さや、人権について学ぶ機会がある」〈道徳・人権〉

「私は学園祭や体育祭など学校行事に積極的で、楽しく参加している」〈特別活動〉

「自分のスケジュールを管理し、学校行事や部活動と学習の両立ができている」〈学校生活〉

「学校は授業以外の講習や補習など、学力向上のための場を設定している」〈学習〉

「自分で計画を立て、家庭で学習する時間を持つように努力している」〈学習〉

肯定的な回答が80%に満たなかった項目

「自分のスケジュールを管理し、学校行事や部活動と学習の両立ができている」〈学校生活〉

「学校は生徒1人1台端末を効果的に活用している」〈1人1台端末〉

「自分で計画を立て、家庭で学習する時間を持つように努力している。」〈学習〉

- ① 「学校は将来の生き方や進路選択について考える機会を設けている」の項目が年々上昇し3.6と過去最高値であった。進路部によるこれまでの職業人講演会や分野別説明会などの働きかけのみならず、『総合的な探究の時間』において、興味関心から学問・分野、さらには関連する業種・職種を調べる活動をした学年が3学年揃ったことが理由としてあげられる。
- ② 「学校は授業以外の講習や補習など、学力向上のための場を設定している」の項目は3年連続数値が上昇し、肯定的な回答は97%にもものぼる。土曜講習はもちろん、それ以外にも先生方による積極的な放課後や長期休暇時の講習が充実していることを示している。現在、進路部が中心となって土曜講習の在り方を整理しているところであり、今後もこの項目においては高い水準をキープすると考えられる。
- ③ 「学校で命の大切さや、人権について学ぶ機会がある」の項目において、数値が3.2→3.5と大きく上昇している。今年度、寝屋川高校として学ばせたい人権学習を整理し、それを実践できたことが理由と考えられる。
- ④ 「私は学園祭や体育祭など学校行事に積極的で、楽しく参加している」が過去最高値を記録するとともに「自分のスケジュールを管理し、学校行事や部活動と学習の両立ができている」「自分で計画を立て、家庭で学習する時間を持つように努力している」の両項目においても過去最高値となり、文武両道を実践し充実した学校生活を送っている生徒が増えて来たことがう

かがえる。

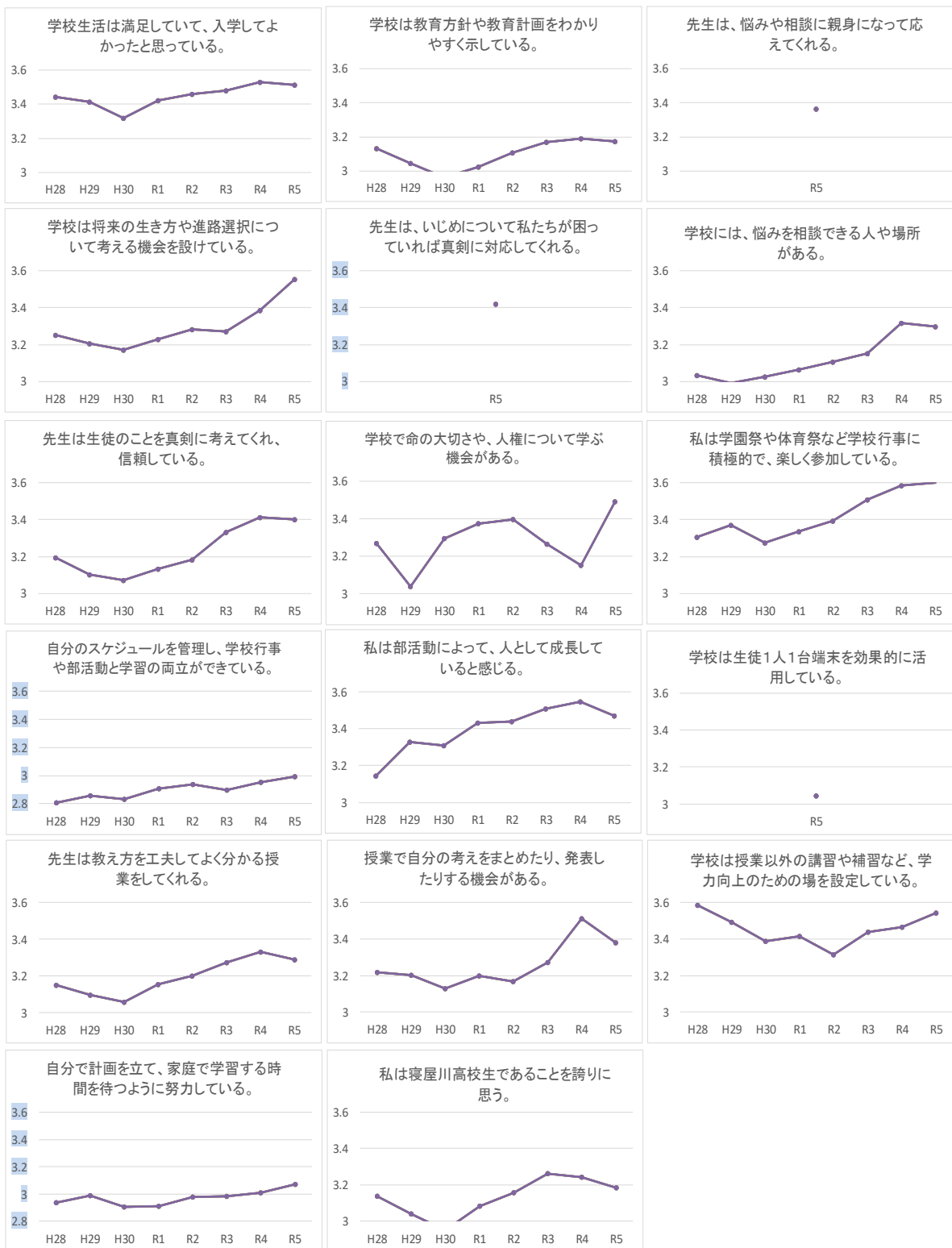
- ⑤ しかし、「自分のスケジュールを管理し、学校行事や部活動と学習の両立ができている」および「自分で計画を立て、家庭で学習する時間を持つように努力している」の両項目がそれぞれ3.0、3.1と過去最高値ではあるが調査以て低い水準にある。これはスタディサプリの利用をはじめとする進路部を中心とした生徒への学習指導によって少しずつ改善してきているものの、日常の学習に対する意識の低さを表しており、さらに数値を上げるためには全教員が課題意識を持ち行動を起こす必要がある。今後の寝屋川高校の伸びしろとして捉え、学校として方策を検討したい。
- ⑥ 「学校は生徒1人1台端末を効果的に活用している」の項目について、学年別で3年2.6、2年3.2、1年3.3であり、受験を控えた3年生時では活用しにくい状況がうかがえる。また、総合的な探究の時間において、1、2年が調べ活動等で利用が多いことに対し、3年ではゼミ形式の実践的な活動展開のなかで利用機会のないゼミもあり、3年の数値が低い理由の一つになっていると考えられる。
- ⑦ 「寝屋川高校生であることを誇りに思う」が、2年連続で下降している。数値は3.2（肯定的な回答83.9%）である。この数値は決して高いとは捉えず、一人でも多くの生徒が誇りをもって卒業していくような学校をめざしたい。

学校教育自己診断 生徒用 経年変化

『そう思う』4点、『どちらかといえばそう思う』3点、『どちらかといえばそう思わない』2点、『そう思わない』1点としての平均値

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
全体	3.107	3.138	3.111	3.18	3.234	3.287	3.333	3.35
学校生活は満足していて、入学してよかったと思っている。	3.443	3.413	3.317	3.422	3.46	3.482	3.531	3.515
学校は教育方針や教育計画をわかりやすく示している。	3.13	3.045	2.963	3.025	3.106	3.17	3.191	3.174
先生は、悩みや相談に親身になって応えてくれる。								3.365
学校は将来の生き方や進路選択について考える機会を設けている。相談する機会を設けている(R4年度まで)	3.254	3.206	3.172	3.229	3.283	3.273	3.386	3.554
先生は、いじめについて私たちが困っていれば真剣に対応してくれる。								3.421
学校には、悩みを相談できる人や場所がある。	3.032	2.991	3.025	3.066	3.107	3.153	3.318	3.299
先生は生徒のことを真剣に考えてくれ、信頼している。	3.193	3.102	3.072	3.131	3.183	3.333	3.413	3.401
学校で命の大切さや、人権について学ぶ機会がある。	3.27	3.039	3.293	3.376	3.396	3.265	3.151	3.489
私は学園祭や体育祭など学校行事に積極的に、楽しく参加している。	3.307	3.37	3.276	3.337	3.394	3.508	3.588	3.6
自分のスケジュールを管理し、学校行事や部活動と学習の両立ができています。	2.809	2.855	2.833	2.908	2.939	2.899	2.955	2.991
私は部活動によって、人として成長していると感じる。自分は部活動に意欲的に参加していて、成長していると思う(R4年度まで)	3.143	3.33	3.308	3.43	3.439	3.509	3.547	3.469
学校は生徒1人1台端末を効果的に活用している。								3.045
先生は教え方を工夫してよく分かる授業をしてくれる。	3.15	3.095	3.057	3.153	3.202	3.273	3.332	3.289
授業で自分の考えをまとめたり、発表したりする機会がある。	3.219	3.202	3.129	3.198	3.168	3.273	3.512	3.38
学校は授業以外の講習や補習など、学力向上のための場を設定している。	3.585	3.491	3.387	3.417	3.314	3.44	3.466	3.541
自分で計画を立て、家庭で学習する時間を待つように努力している。	2.936	2.989	2.902	2.911	2.98	2.985	3.009	3.071
私は寝屋川高校生であることを誇りに思う。	3.138	3.039	2.949	3.082	3.155	3.26	3.242	3.181

学校教育自己診断 生徒用経年変化 R5回答数827人



肯定的な回答の割合 経年比較

(そう思う・どちらかというと思う)

	3年	2年	1年	R.5 (%)	R.4 (%)	R.3 (%)
学校生活は満足していて、入学してよかったと思っている。	95.7	93.8	92.1	93.9	94.5	93.1
学校は教育方針や教育計画をわかりやすく示している。	83.6	82.6	88.9	85.0	87.4	87.6
先生は、悩みや相談に親身になって応えてくれる。	93.2	93	92.5	92.9		
学校は将来の生き方や進路選択について考える機会を設けている。	95.7	96.7	97.7	96.7	92.0	88.5
先生は、いじめについて私たちが困っていれば真剣に対応してくれる。	94	95.1	97.1	95.4		
学校には悩みを相談できる人や場所がある。	89.0	90.5	84.9	88.1	86.7	83.4
先生は生徒のことを真剣に考えてくれ、信頼している。	93.9	92.6	91.9	92.8		
学校で命の大切さや、人権について学ぶ機会がある。	95	91.3	98	94.8	82.3	87.5
私は学園祭や体育祭など学校行事に積極的に、楽しく参加している。	96.8	93.4	94.5	94.9	94.9	92.3
自分のスケジュールを管理し、学校行事や部活動と学習の両立ができています。	80.8	72.3	69.5	74.2	72.0	70.6
私は部活動によって、人として成長していると感じる。	91.9	93.6	89.8	91.8	92.9	91.7
学校は生徒1人1台端末を効果的に活用している。	56	83	85.6	74.9		
先生は教え方を工夫してよくわかる授業をしてくれる。	88.9	94.6	89.9	91.1	92.7	90.8
授業で自分の考えをまとめたり、発表したりする機会がある。	84.7	96.7	91.1	90.8	92.8	88.0
学校は授業以外の講習や補習など、学力向上のための場を設定している。	96.5	97.5	96.4	96.8	94.4	91.9
自分で計画を立て、家庭で学習する時間を持つように努力している。	86.4	77.3	70.8	78.2	75.1	73.5
自分は寝屋川高校生であることを誇りに思う。	85.7	81.4	84.5	83.9	86.7	87.5

保護者編

教育庁から指示のあった必須1項目を新たに加え、全16項目で実施した。

「そう思う・どちらかと言えばそう思う」といった肯定的な回答が80%を超えた項目は、14項目（R4は14項目）、90%を超えたのは7項目（R4は11項目）だった。

評価数値の全項目平均値は3.14^{※3}と横ばいであった。

※3) 新項目1つを含めた平均値

評価数値が昨年度を上回った項目

- 「学校は子どもの健康や安全に十分に配慮している」〈学校対する意識〉
- 「施設設備の面で、学校の学習環境は整備されている」〈学校に対する意識〉
- 「学校は授業以外でも学力増進のための教育活動に取り組んでいる」〈学習〉
- 「学校の進路指導は豊富な情報提供など丁寧に指導している」〈進路〉
- 「学校は子どもの学校での様子を実際に見る機会を設けている」〈情報提供〉
- 「学園祭や体育祭など学校行事は充実している」〈学習〉
- 「部活動に参加することで子どもは成長したと感じている」〈部活動〉
- 「入学させてよかったと満足している」

肯定的な回答が80%に満たなかった項目

- 「施設設備の面で、学校の学習環境は整備されている」〈学校に対する意識〉
- 「学校の学習指導によって、学力が向上し満足している」〈学習〉

- ① 最重要項目である「入学させて良かったと満足している」では、数値が3.53（R4は3.52）と昨年度比較して微増、肯定的な回答は95.7%（R4は94.3%）とはじめて95%を超えた。コロナによる影響がない本来の教育活動ができた結果と考えられる。さらに高い数値をめざし、より質の高い教育活動に教員一丸となり取り組んでいきたい。
- ② 「施設設備の面で、学校の学習環境は整備されている」の項目において、数値が2.25→2.48と大きく上昇した。これは体育館にエアコンが設置されたことが大きな要因と考えられる。しかし他の項目と比較し極端に数値が低く、肯定的な回答は49.7%と過半数を下回る状態が続いている。校舎改築等の抜本的な改善が必要な部分もあるが、生徒編の回答で「学校は生徒1人1台端末を効果的に活用している」の数値が低いことにも鑑みて、教材のデジタル化やDX関係設備の充実を図りたい。
- ③ 「学校の学習指導によって、学力が向上し満足している」の項目については、数値が2.75（肯定的な回答は64.9%）と過去最低値になった。対して生徒編の「学校は授業以外の講習や補習など、学力向上のための場を設定している」の数値がこの3年間上昇傾向にあることや、生徒からの授業評価の学校平均値^{※4}が非常に高いことを考えると、生徒と保護者では感じ方に乖離がみられる。情報発信の不足が理由として考えられる他、保護者の学校に対する期待の表れともいえるので、真摯に受け止めて学校全体で対応策を検討したい。

※4) 別途実施している生徒による授業評価アンケート
- ④ 昨年度比較で最も大きく減少したのが「学校は保護者の願いや期待に応えようと努力している」の項目であった。3.25→3.07となり、肯定的な回答は90.1%→86.1%に減少した。上記し

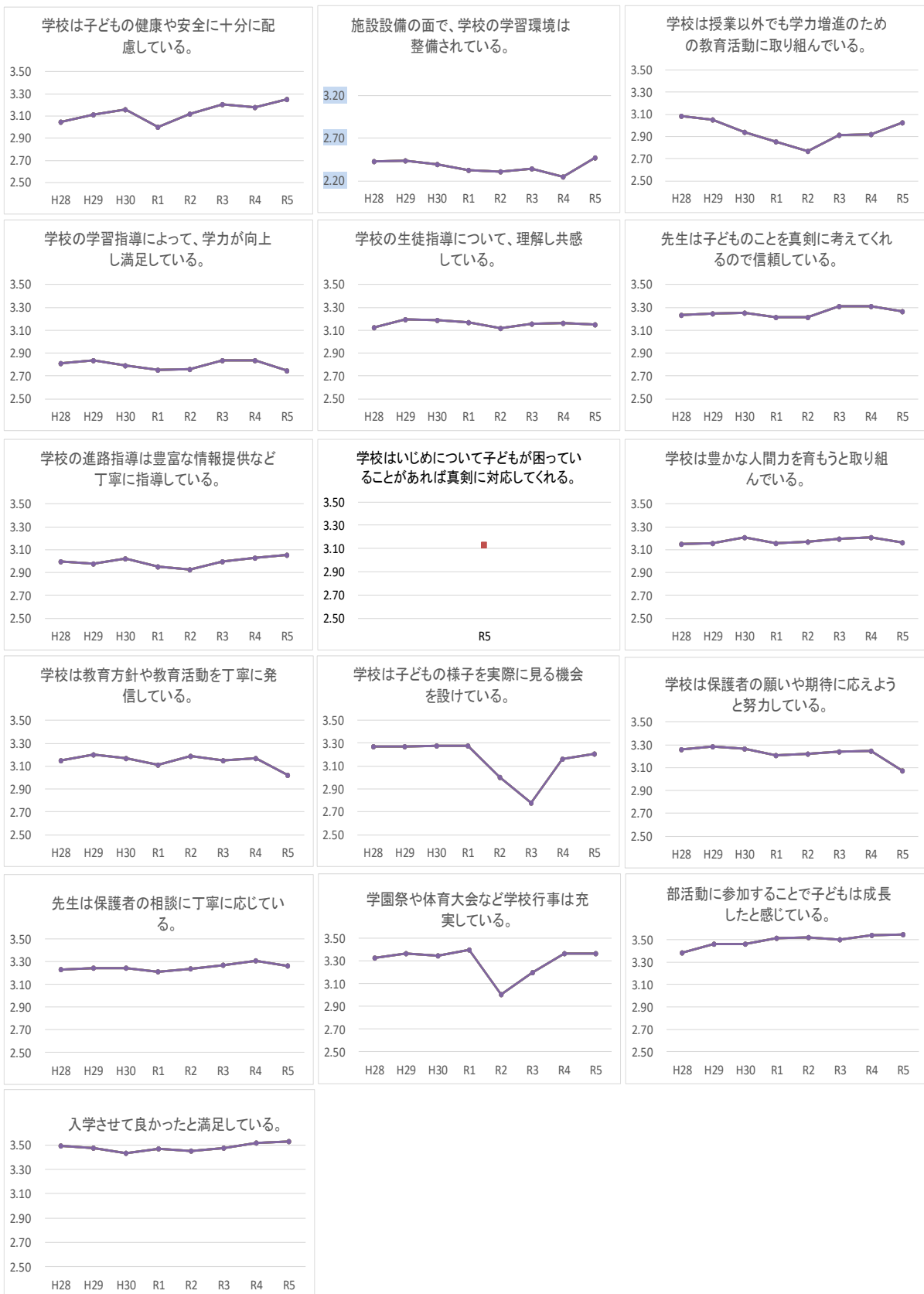
た「学校の学習指導によって、学力が向上し満足している」の数値結果とも連動していると思われる。これらの結果を重く受け止め、保護者の声に耳を傾けるとともに、生徒一人ひとりの自己実現を大切にする取り組みを引き続き改善しながら進めたい。

学校教育自己診断 保護者用 経年変化

『そう思う』4点、『どちらかといえばそう思う』3点、『どちらかといえばそう思わない』2点、『そう思わない』1点 としての平均値

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
全体	3.081	3.054	2.964	2.901	2.924	2.951	3.185	3.101
学校は子どもの健康や安全に十分に配慮している。	3.05	3.11	3.16	3.00	3.12	3.20	3.18	3.25
施設設備の面で、学校の学習環境は整備されている。	2.43	2.44	2.39	2.33	2.31	2.34	2.25	2.48
学校は授業以外でも学力増進のための教育活動に取り組んでいる。	3.09	3.05	2.94	2.86	2.77	2.91	2.92	3.03
学校の学習指導によって、学力が向上し満足している。	2.81	2.84	2.79	2.75	2.76	2.83	2.84	2.75
学校の生徒指導について、理解し共感している。	3.12	3.20	3.19	3.17	3.12	3.16	3.17	3.15
先生は子どものことを真剣に考えてくれるので信頼している。	3.24	3.24	3.25	3.22	3.21	3.31	3.31	3.26
学校の進路指導は豊富な情報提供など丁寧に指導している。	3.00	2.98	3.02	2.95	2.93	2.99	3.03	3.05
学校はいじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。								3.13
学校は豊かな人間力を育もうと取り組んでいる。	3.15	3.16	3.21	3.16	3.17	3.19	3.21	3.16
学校は教育方針や教育活動を丁寧に発信している。	3.15	3.20	3.17	3.11	3.19	3.15	3.17	3.02
学校は子どもの様子を実際に見る機会を設けている。	3.27	3.27	3.28	3.28	3.00	2.78	3.16	3.21
学校は保護者の願いや期待に応えようと努力している。	3.26	3.29	3.26	3.21	3.22	3.24	3.25	3.07
先生は保護者の相談に丁寧に応じている。	3.23	3.24	3.24	3.21	3.23	3.27	3.31	3.26
学園祭や体育大会など学校行事は充実している。	3.33	3.37	3.35	3.40	3.01	3.20	3.37	3.37
部活動に参加することで子どもは成長したと感じている。	3.38	3.46	3.46	3.51	3.52	3.50	3.54	3.55
入学させて良かったと満足している。	3.49	3.47	3.43	3.47	3.45	3.47	3.52	3.53

学校教育自己診断 保護者用経年変化 R5回答数538人



肯定的な回答割合 経年比較

(そう思う・どちらかというと思う)

	R.5 (%)	R.4 (%)	R.3 (%)
学校は子どもの健康や安全に十分に配慮している。	93.5	88.4	87.6
施設設備の面で、学校の学習環境は整備されている。	49.7	38.2	43.8
学校は授業以外でも学力増進のための教育活動に取り組んでいる。	81.0	72.1	73.3
学校の学習指導によって、学力が向上し満足している。	64.9	67.4	68.2
学校の生徒指導について、理解し共感している。	89.5	86.5	85.5
先生は子どものことを真剣に考えてくれるので信頼している。	91.4	89.9	90.3
学校の進路指導は豊富な情報提供など丁寧に指導している。	83.1	78.8	76.6
学校はいじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	92.5		
学校は豊かな人間力を育もうと取り組んでいる。	89.9	89.7	88.4
学校は教育方針や教育活動を丁寧に発信している。	80.1	86.3	84.8
学校は子どもの学校での様子を実際に見る機会を設けている。	86.3	83.3	64.2
学校は保護者の願いや期待に応えようと努力している。	86.1	90.1	89.2
先生は保護者の相談に丁寧に応じている。	92.4	90.9	90.2
学園祭や体育祭など学校行事は充実している。	93.1	91.7	84.8
部活動に参加することで子どもは成長したと感じている。(部活加入者のみ回答)	92.5	94.5	94.3
入学させてよかったと満足している。	95.7	94.3	93.6

教 職 員 編

教育庁から指示のあった必須3項目加え、全16項目で実施した。

「そう思う・どちらかと言えばそう思う」といった肯定的な回答が80%を超えた項目は、全16項目のうち13項目、90%を超えたのは4項目だった。

評価数値の全項目平均値は3.10※5と（R4は3.19）減少したが、項目内容が同一ではないため一概に比較はできない。

※5）変更3項目を含めた平均値

評価数値が昨年度を上回った項目

「学校の人権教育体制は十分に機能している」

肯定的な回答が80%に満たなかった項目

「学校の教育目標が共有され、全員で協働して、組織的に教育活動に取り組んでいる」

〈学校組織〉

「学校にはPDCAサイクルに沿った改善志向が浸透している」〈教育活動改善〉

「学校は生徒の学力伸長や進路実現のために一体となって取り組んでいる」〈進路指導〉

- ① 「学校の人権教育体制は十分に機能している」の項目において、人権教育推進委員会を設置以降、数値は上昇し、今年度最高値の3.09になった。生徒編の「学校で命の大切さや、人権について学ぶ機会がある」の項目においても昨年度比較で数値が3.19→3.49と大きく上昇したことからも、寝屋川高校としての人権学習の体制が整理され、実践できているといえる。
- ② 「指導内容や指導方法の工夫・改善に努めている」の項目については、3.40→3.35と微減だが、肯定的な回答97.9%（R4は96.1%）と以前高い水準を保っている。授業力向上委員会を中心とした授業研究の取り組みをはじめ、教員の授業に対する意識の高さを示している。
- ③ 「学校の教育目標が共有され、全員で協働して、組織的に教育活動に取り組んでいる」および「学校にはPDCAサイクルに沿った改善志向が浸透している」の項目は、2.87と2.72であり、今年度に限らず8年間平均して低い水準にある。次年度、新たに教員全体で寝屋川高校の課題や力を入れるべき部分を見つけ、対応方法を検討し実践する機会を設けたい。
- ④ 「学校は生徒の学力伸長や進路実現のために一体となって取り組んでいる」の項目については、昨年度の大幅改善に反し今年度は3.17→2.98と下げた。これについては、昨年度の取り組みを大きく変えたわけではなく、R3の落ち込みを戻している値にはなっているため、引き続き進路部や学力向上委員会を中心とした情報共有や研修を実施していきたい。
- ⑤ 学校独自項目の「一斉退庁日設定は、働き方改革において一定の効果がある」は、肯定的な回答が69.6%（強い肯定『そう思う』32.6%）であった。賛否両論聞かれるものではあるが、働き方改革推進の面においては効果を感じる教員が7割程度いる結果となった。

学校教育自己診断 教員用 経年変化

『そう思う』4点、『どちらかといえばそう思う』3点、『どちらかといえばそう思わない』2点、『そう思わない』1点としての平均値

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
全体	3.08	3.05	2.96	2.90	2.92	2.95	3.18	3.10
学校の教育目標が共有され、全員で協働して、組織的に教育活動に取り組んでいる。	2.96	2.87	2.77	2.69	2.79	2.69	3.02	2.87
学校は新たな課題や生徒の実態に対して適切に対応している。	3.04	3.07	2.87	2.83	2.94	2.92	3.02	2.96
校長は教職員が気持ちよく教育活動に取り組めるように学校経営に努めている。	3.11	3.17	2.75	2.75	2.56	2.72	3.38	3.26
校長はめざす学校像を実現するためにリーダーシップを発揮している。	3.34	3.00	2.77	2.81	2.67	2.69	3.29	3.02
学校にはPDCAサイクルに沿った改善思考が浸透している。	2.77	2.73	2.54	2.40	2.33	2.61	2.81	2.72
各教科において学習指導計画や評価について十分な議論がなされている。	2.78	2.96	2.88	2.79	3.04	3.17	3.23	3.20
自分は指導内容・方法など工夫・改善をおこない、生徒の意欲喚起に努めている。	3.42	3.48	3.46	3.35	3.19	3.42	3.40	3.35
学校は生徒に寄り添った(生活)指導を行っている。								3.15
学校は生徒の学力伸長や進路実現のために一体となって取り組んでいる。	3.27	3.22	2.96	2.88	2.94	2.72	3.17	2.98
いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。								3.24
学校は生徒の健康や安全に十分配慮している。	3.25	3.40	3.33	3.17	3.31	3.28	3.35	3.24
学校の教育相談体制は十分に機能している。	3.09	3.09	3.23	3.15	3.11	2.89	3.15	3.15
学校の特別活動は生徒にとって魅力のあるものになっている。								3.17
学校は特色や教育活動を保護者や社会に発信するように努めている。	3.21	3.04	2.90	3.00	2.90	3.06	3.17	3.15
学校の人権教育体制は十分に機能している。	2.68	2.33	2.52	2.69	2.92	2.81	3.08	3.09
総合的に見て、寝屋川高校は高い教育力を発揮している。	3.11	3.09	3.10	2.85	2.96	2.92	3.23	3.07
一斉退庁日設定は、働き方改革において一定の効果がある。								2.89

学校教育自己診断 教員用経年変化 R5回答数46人



肯定的な回答割合 経年比較

(そう思う・どちらかというと思う)

	R.5 (%)	R.4 (%)	R.3 (%)
学校の教育目標が共有され、全員で協働して、組織的に教育活動に取り組んでいる。	71.7	90.4	63.8
学校は新たな課題や生徒の実態に対して適切に対応している。	84.8	84.7	75.1
校長は教職員が気持ちよく教育活動に取り組めるように学校経営に努めている。	95.6	90.4	69.4
校長はめざす学校像を実現するためにリーダーシップを発揮している。	82.6	88.5	69.4
学校にはP D C Aサイクルに沿った改善志向が浸透している。	58.7	71.2	58.2
各教科において学習指導計画や評価について十分な議論がなされている。	89.1	90.4	88.9
自分は指導内容・方法など工夫・改善をおこない、生徒の意欲喚起に努めている。	97.9	96.1	94.4
学校は生徒により沿った生徒（生活）指導を行っている。	91.3		
学校は生徒の学力伸長や進路実現のために一体となって取り組んでいる。	78.2	86.5	66.7
いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。	87.0		
学校は生徒の健康や安全に十分に配慮している。	93.4	94.2	91.7
学校の教育相談体制は十分に機能している。	89.2	84.6	72.3
学校の特別活動は生徒にとって魅力のあるものになっている。	89.2		
学校は特色や教育活動を保護者や社会に発信するよう努めている。	89.1	86.5	80.6
学校の人権教育体制は十分に機能している。	86.9	84.6	75.0
総合的に見て、寝屋川高校は高い教育力を発揮している。	84.7	92.3	83.3
一斉退庁日設定は、働き方改革において一定の効果がある。	69.6		